

楷書のポイント

横画は右上りに(1)

空間は等分割(2)

偏は左を長く(3)

しんにへの練習(4)

林	豊	和	道
域	形	言	近
様	衆	快	返

年 組 番 氏名

◎ 見本の例に上げた漢字を4つずつ書きましよう。
 (ポイントに気をつけながら、丁寧に美しく書くこと。)

いろは歌

ひらがなの見本（楷書）

いろはにほへとちりぬるを

色は匂えど 散りぬるを
〔色は美しくても、（花は）散ってしまふ〕

わかよたれそつねならむ

我が世誰ぞ 常ならむ
〔わたしたちこの世のだけれが、永久に変わらないことがあるだろうか〕

うるのおくやまけふこえて

有為の奥山 今日越えて
〔いろいろなことがある深い山を、今日もこえていくけれど〕

あさきゆめみし ゑひもせす

浅き夢見じ 酔いもせず
〔浅い夢を見たり、酔ったりしないようにしよう〕

いろは歌は、今から千年ほど前に、四十七字の仮名をそれぞれ一度だけ使って作られた歌。仮名を習うときの手本として、昔から広く用いられてきた。

「ゑ・ゑ」は、わ行の「い・え」に対応する昔の文字。

◎字形に気をつけて、
2回ずつ書こう。

（A4用紙に2cm角のマス目を
自分で書くこと。）

